

わたしたちに  
できること

宮下 優希

# 1, きっかけ

ある日、私はテレビを見ていたら、

「アフリカ大陸の方などでは食糧不足で栄養が足りていない」というのがあった。豊かな中川村とは違うと思った。

そして、どうすればいいのかや、なにが問題なのかを知りたいと思った。

なので私は、今の現状について調べた。

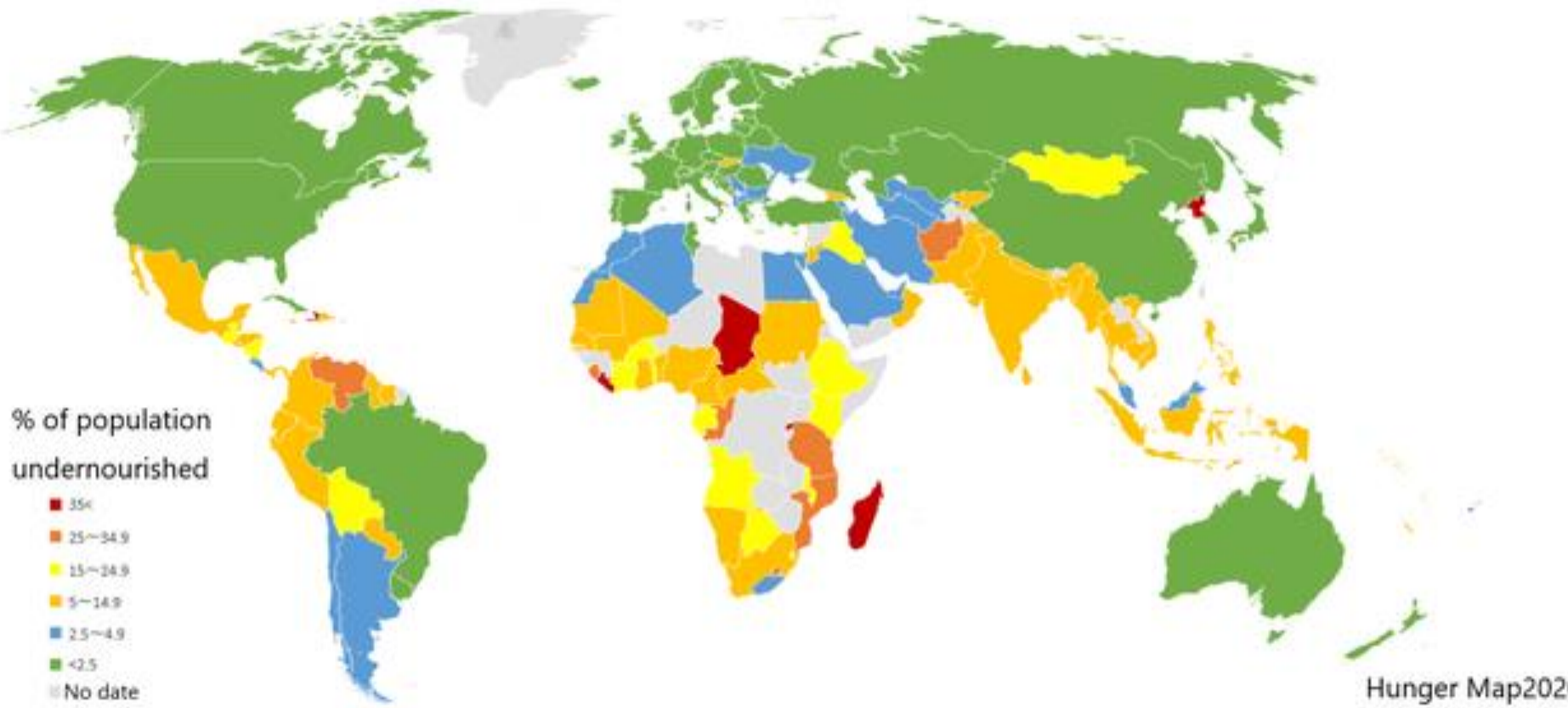
## 2, 現状、問題点

世界人口62億人のうち、約8億3000万人の人々が栄養不足で、世界の約7人に1人が飢餓に苦しんでいる。そのほとんどがアフリカに集中している。

主な原因は気候変動や紛争などだ。気候変動への対策も考えるべきだと思った。

しかし、中川村ではこれに関わる大きな取り組みをしていない。

なので、私はこのことを提案する。



% of population undernourished

- 35<
- 25~34.9
- 15~24.9
- 5~14.9
- 2.5~4.9
- <2.5
- No date

Hunger Map2020

### 3, 提案すること

#### ・食品ロスの削減

私は食への意識を高めることなどのために、食品ロスの削減をしたほうがいいと思う。これは、自分たちが意識していけばできることだと思う。そして、これを全員が取り組めるようになるために、工夫してほしいと思う。



## 理由

食品ロスをなくしていけば、世界の人々へ全員へ食料などが行き渡る。そしてこのことは、SDGsの12とも関係し、同時に良くなっていく。

具体的には、

家や学校で食べ物を残さなかったり、作る量を調整したりする。

## 実現したときの効果

食品ロスを減らすことで、世界中の人へ食料が行き渡って、栄養不足の人が助かったり、これからの生活が安定したりして、豊かになっていくと考える。



たとえ少しでもいいから世界の人々全員が十分にご飯を食べたりできるように

自分たちがつくる責任つかう責任を知っていけるように

がんばりましょう  
やりましょう

